



自然によりそい、品質にこだわる、まじめな土づくり

3つの約束

① 確かな原料で、こだわりの配合

すべての原料に品質基準を設け、クリアした原料のみを使用。培養土の開発では植物ごとに研究を重ねて、独自のレシピを作り上げます。

② すくすく育つか、しっかり確認



開発した培養土は研究室と試験用ハウスで発芽と生育をしっかり確認。商品は作るたびに品質をチェックしてから出荷します。

③ 責任をもって、サンプル保管



培養土は決められた期間、出荷したすべての製品サンプルを研究室で保管。お客さまからのご相談やお問合せに、迅速に対応します。



植え替えのポイント！

●基本的に生育期である春(4～6月頃)と秋(9～10月)に植え替えます。

株抜き



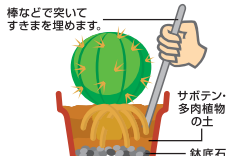
植え替えの前は用土を乾かし気味にしておきます。鉢の縁を軽くたたくと、鉢から出しやすくなります。

根ほぐし



根鉢を崩し、古い土を取り除きます。傷んだ根や長い根をハサミで切り取り、2～3cmだけ残します。

植えつけ



日陰で切り口を乾燥させてから、新しい鉢に鉢底石と培養土を入れて、植えつけます。

植えつけ後



植え替え後は水やりを控えます。2週間前後は水を与えないようにし、半日陰で管理します。水は急激に増やさず、少しずつ元通りに与えます。



栽培のコツ！

植え替えが必要なとき

※目安として1～2年に1回植え替えをします。

●鉢底の穴から根が出ているとき。



●植物が鉢いっぱい水を与える余地のないもの。



水やり

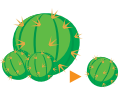
サボテンが自生している砂漠や乾燥地は雨期と乾期がはっきりしています。したがって生長期には十分に水を与え、休眠期には水やりを控えます。



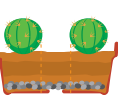
- 生育が盛んな3月～6月は鉢土の表面が乾いたらたっぷりと。
- 休眠期の11月～2月は断水するか暖かい日を選んで月に1～2回ほど軽く与えます。
- 生育が鈍くなる7月は鉢底まで乾くのを待って週2回程度水やりをします。

株分け

親株から子株を取り外します。子は手ではずすか、種類によってはナイフで切り離します。(トゲにご注意ください。)



2～3日陰干した後、少し間隔を空けて植えつけます。株分け後は、数日間水やりを控えます。



置き場所



基本的に日光がよく当たる場所に置きます。可能であれば1日中日光に当てあげます。ただし、夏の日ざしは強すぎるので、カーテン越しに日光を当てます。

商品名	サボテン・多肉植物の土
主要配合原料	火山性砂礫、ピートモス、堆肥、パーライト、ゼオライト など ※品質向上のために変更する場合があります。ご了承ください。
pH	6.5±0.5
肥料配合の有無	無

注意
 ●乳児・幼児の手に届かない場所に保管してください。誤って口に入れたり、空き袋を頭からかぶったりしないようにしてください。
 ●高湿多湿などの環境下になるとコケやカビ等が発生することがありますが、品質の影響はありません。安心してお使いください。
 ●前の袋のアルミラミネート部分には、手袋等をつけて作業を行ってください。



ごみに出すときは自治体の区分にしたがってください。

森産業株式会社

フリーダイヤル: 0120-133191
 Eメール: forex@forex-mori.com
 ホームページ: <http://www.forex-mori.com/tucchi>

万一品質に不具合がありました時は、上記フリーダイヤル、Eメールまでお問い合わせください。

サボテン・多肉植物の土 5ℓ

